



泳ぐことより、まず、浮くことが大切！

7
17回 水難事故から 命を守る

高松小学校で、3～6年生を対象とした着衣泳訓練を行いました。同小学校では夏休みを前に、衣服を着たまま川や海に転落した場合に備えて、毎年実施。消防署員の指導のもと、あお向けに浮かび救助を待つ「背浮き」を練習しました。初めは、「濡れた服で体が重いよ！」といいながら苦戦をしていた児童らも、「あわてないで力を抜いて」「服の中に空気を入れて」などといったアドバイスにより次第にコツをつかみ、上手に浮かんでいました。



今年も海の安全を見守ってくれるライフセーバーの皆さん

7
7回 さあ 海へ行こう！

市内3海水浴場（白谷・仁崎・伊良湖）が一斉に海開きし、各会場でさまざまなイベントが開催されました。白谷海水浴場の海開き式では、ライフセーバーの皆さんが「救護活動の実演」を披露し、訪れた人々に安心して海水浴を楽しんでもらえるよう訴えたり、田原風保存会の皆さんが、「風揚げ」で海開きを祝ったりしました。海水浴のシーズンは8月31日（金）まで。きれいな水の田原の海に、皆さん、ぜひお出かけください。



「何かつれたかな？」親子で一緒に釣りを楽しむ参加者ら

7
8回 田原の海は 釣り場の宝庫

渥美半島一帯で田原市海釣り大会を開催しました。大会は、制限時間内に釣った魚5匹以内の総重量を競うもので、市内外から約150名が参加しました。この日、半島内の各漁港には、家族連れや友達同士などで、釣りを楽しむ姿が多く見られました。午後からの審査には、「タイ」「アイナメ」「キス」など、参加者それぞれが釣ったたくさんの魚が持ち込まれ、計量器に大物が載るたびに大きな歓声が上がっていました。



厳しい訓練を乗り越え大会に出場したメンバーら

7
16回 鍛えた技術は 上位に負けず劣らず

第52回愛知県消防操法大会が豊橋市で開催され、田原市消防団の代表として野田分団が出場しました。大会は、消防活動の進歩充実のため毎年行われており、ホース延長やポンプ操作、放水などの技術を競うもの。野田分団は入賞こそ逃しましたが、厳しい訓練に耐えた成果を発揮してくれました。
【出場メンバー】鈴木通人(指揮者)・林剛司(1番員)・山本佳正(2番員)・河合秀哉(3番員)・伊藤善徳(4番員)・富田和利(補助者)ノ敬称略